



## 感染者の動向

感染者数／1日*	2人（ほぼ収束）
累計死亡者数	32人
死亡者数／100万人	0人

(\*9月7日～14日の平均) 出所：WHO



## 行動・活動制限

活動制限	あり※地域限定
実施主体	ベトナム政府、省・市の人民委員会
具体的制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダナン市では9月5日より外出制限措置が段階的に緩和されているが、30人以上の集会、不要不急のイベント、生活に必要不可欠ではない各商業サービスや娯楽施設の営業は制限されている。</li> </ul>
日本人学校	ハノイ日本人学校は5月11日より中学部、18日より小学部を段階的に再開。ホーチミン日本人学校は5月5日に段階的に再開。



## 空港再開／直行便

空港	稼働中
日本からの直行便	
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本からベトナムへの定期運航便の再開が提案されているが、実際に再開される時期は未定。</li> <li>両国政府承認のもと特別便の運航事例はあり。</li> </ul>	



## 日本人に対する入国制限

日本人の入国	原則不可
外務省渡航情報	
レベル3：渡航中止勧告（感染症）	
制限措置概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム政府は3月22日より、原則全ての外国人の入国を停止</li> <li>ベトナム政府の承認のもと、専門家、企業管理者、高技能労働者などについては入国が認められる場合があるが、医療申告やPCR検査、14日間の隔離などが求められる。ただし、短期出張者の隔離を免除する方針が発表された。</li> </ul>	



## 経済活動再開の状況

経済活動の状況
主要規制・制限および再開状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>ダナン市は7月28日より15日間、市内で首相指示16号（16/CT-TTg）に基づく外出制限措置を実施していたが、9月5日より同措置の緩和が段階的に進んでいる。9月10日付のダナン市の発表では、9月11日から30人未満の集会が認められ、飲食店の通常営業も感染対策を実施のうえ許可される。教育・訓練施設は9月14日以降、順次再開が認められる。</li> <li>ダナン市周辺の省や新規感染者が出た省・市でも、一部制限措置が講じられていたが、緩和に向かっており、経済活動への制限は限定的。</li> </ul>
現地産業・企業の動き
<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年1～6月のGDP成長率は前年同期比1.81%（推計値）。直近10年間で最低の水準だが、プラス成長を維持している。</li> <li>2020年のGDP成長率について、世界銀行の6月8日発表の予測によると2.8%になる見通し。前年よりも下がるが、プラス成長は維持するとの見方が多い。</li> <li>2020年1～6月の貿易（税関総局）は、輸出額が前年同期比0.2%増の1,227億8,900万ドル、輸入額が2.9%減の1,173億2,700万ドル。コンピュータ電子製品・同部品の輸出入は好調を維持した一方、縫製品、履物の輸出および織布・生地の輸入は減少した。5月は輸出入ともに前年同月比マイナスとなったが、6月はプラスとなり回復の兆し。</li> <li>観光業の促進のため、政府は国内旅行キャンペーンを実施していたが、市中感染発覚により、国内旅行もキャンセルが相次いでいる様子。</li> </ul>



ハノイ事務所  
庄 浩充

## 第2波による新規感染も減少、外出制限措置は緩和に

- ベトナムでは7月25日にダナン市で100日ぶりの市中感染が報告されて以降、第2波による感染者増加が続いていたが、8月下旬より新規感染者数は減少。
- ダナン市でも9月5日より外出制限措置が段階的に緩和されている。
- ベトナムへの短期出張者に対して隔離措置を免除する方針が出るなど、入国制限緩和に向けた動きが出ているが、運用の詳細が明らかになっていない。



## 現地日系企業の活動状況

## 現地日系企業の抱える課題

## 操業状況

- ・ 感染者の多いダナン市などでは、一部活動への制限が残っている。感染者以外の隔離対象者への手当は企業の負担に。
- ・ 外出制限下でも製造業の操業は認められたが、感染症対策を実行するため、稼働状況を制限した企業が多かった。現在は通常どおりの操業が認められているが、世界的な需要の減退によって100%の稼働に至っていない企業もある。一方、一部では他国の生産拠点の操業が制限されている状況を受け、一時的にベトナム拠点の稼働率を上げている企業もある。

## サプライチェーン、物流への影響

- ・ 航空便の減少による物流コストの上昇や遅延は一部で見られるが、物流への影響は限定的になってきている。
- ・ ベトナム国内での生産活動は制限されていないが、他国の生産状況や物流の制限によって、調達が遅れるケースなどはある。

## 現在抱える課題、懸念

- ・ 入国制限措置が続いており、駐在員の交替の遅延に加え、保守・メンテナンス従事者の派遣、新規設備導入や営業の支援などの大きな障害になっている。特別便で一部企業関係者が入国する事例はあるが、指定のホテルなどで2週間の隔離が必要。
- ・ 短期出張者に対する隔離措置免除のガイダンスが発表されたが、実際にどの程度申請が認められるか、どの程度ベトナムでの活動が制限されるかなど、運用面で明らかになっていないことが多い。
- ・ ベトナム国内の需要は比較的復調が見込まれるが、世界的な需要の減退を受け、業種によっては下期に売上が落ち込むリスクを抱えている。
- ・ ダナン市での市中感染発覚を受け、感染第2波への警戒が続いている。



## 現地政府の企業支援策（進出日系企業を対象に含むもの）

## 経済支援策

## 支援概要

税金および土地賃貸料の支払期限延長

付加価値税、法人税、土地賃貸料について、支払期限の5か月間延長を認めた。

国産車の自動車登録料半額措置

年内はベトナム国産車の自動車登録料が半額になる。

道路使用料の減額

年内は旅客輸送車両に対する道路使用料が車種によって10～30%減額される。



## JETROからのお知らせ

## イベント情報

## 開催日

## セミナー・イベント名

2020年9月30日

オンラインセミナー「ベトナムICT産業最新動向セミナー～新ビジネス創出拠点としてのダナンの可能性～」

主催：ベトナム情報通信省、ダナン市、JETRO

[https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/200930\\_danang\\_annai.pdf](https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/200930_danang_annai.pdf)

## お問い合わせ

(国内)

新型コロナウイルス相談窓口

TEL :03-3582-5651

【特集 新型コロナウイルス感染拡大の影響】

<https://www.jetro.go.jp/world/covid-19>

(海外)

JETRO・ハノイ事務所

VHA@jetro.go.jp

JETRO・ホーチミン事務所

VHO@jetro.go.jp